

# 第6回水稲病害虫発生予察結果(伊豆市内)



今年の生育速度は昨年より早く推移しています。  
カメムシ防除や収穫等の作業が遅れないようご注意ください。

## 4月下旬～5月上旬田植えの早生品種(コシヒカリ・ひとめぼれ等)

### 【生育状況】

市内の各圃場において**出穂期**(田んぼ全体の出穂割合40～50%)または**穂揃期**(田んぼ全体の出穂割合80～90%)の状態が確認できました。昨年と比較すると3～5日ほど生育速度が早い状況にあります。

### 【病害虫の発生状況】

出穂期を迎えている圃場では既にカメムシの吸害が始まっています。出穂期～糊熟期(粃が硬くなる時期)まではカメムシによる吸害が続きます。今年はカメムシの発生数が多い予想ですので、適期に防除できるよう準備をしてください。

#### <粉剤で防除する場合のポイント>

1回目散布：**穂揃期**(田の80～90%出穂時)  
2回目散布：**1回目散布から7～10日経過後**  
使用薬剤：スタークル粉剤3kgまたは  
トレボン粉剤3kg

- 薬剤の残効期間が短い。
- 吸害期間中の被害を抑えるためには**必ず2回散布する**。

#### <粒剤で防除する場合のポイント>

散布時期：**出穂期**(全体の40～50%出穂時)  
使用薬剤：スタークル粒剤3kg

- 薬剤の残効期間が約3週間と長いため、1回の散布で吸害期間中は十分効果を得られる。
- イネが薬剤成分を吸収するまで2～3日かかるため**出穂期に散布する**。
- 散布後4～5日は水深3～5cmを保ち、散布後7日間は落水・かけ流ししない。

※カメムシ類は気温の涼しい時間帯に活発に活動します。効率的に防除するため薬剤散布は午前中(9時頃まで)もしくは夕方に行ってください。

## 5月中旬～下旬田植えの中晩生品種(きぬむすめ・あいちのかおりSBL)

### 【生育状況と栽培管理】

5月20日頃に田植えをした圃場では**幼穂が0.5～0.8cm**確認されました。早生品種同様、昨年と比較して生育が早い状況です。田植えが同時期であれば中干しを終了し間断灌水の水管理に切り換え、幼穂の生長を促すための水と、根を健全に保つための酸素の両方を供給するようにしてください。

また、圃場内の雑草を薬剤で除草する場合は使用時期に気をつけてください。多くの中後期除草剤の使用時期は**収穫45～60日前まで**となりますので、計画的な除草剤散布を心がけてください。

前回の予察結果・栽培管理は  
こちらからご覧になれます！  
次回予察予定 **7月23日(火)**



作成日：令和6年7月16日

発信部署：JAふじ伊豆修善寺営農経済センター(担当：小播)

TEL：0558-72-4461